

川西市財務会計システム再構築に関する公募型プロポーザル審査結果について

川西市財務会計システム再構築に関する事業者の選定について、川西市財務会計システム再構築に関するプロポーザル評価委員会による審査結果及び審査講評を受け、下記のとおり公表します。

令和6年3月28日

川西市長 越田 謙治郎

記

1. 受託候補者
ジャパンシステム株式会社
2. 参加事業者

事業者名
ジャパンシステム株式会社

川西市財務会計システム再構築に関する公募型プロポーザル
審査講評

令和6年3月28日

川西市財務会計システム再構築に関するプロポーザル評価委員会

川西市財務会計システム再構築に関するプロポーザル評価委員会（以下、「評価委員会」という。）は、川西市財務会計システム再構築業務に関して、採点基準に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評を次のとおり報告します。

令和6年3月28日

川西市財務会計システム再構築に関するプロポーザル評価委員会
委員長 森下 宣輝

【目 次】

1. 事業者の募集と評価委員会の会議の経緯.....	1
(1) 業務概要	1
(2) 募集のスケジュール	1
(3) 評価委員会の構成	1
(4) 評価委員会の会議開催と経緯	2
2. 提案内容に関する審査.....	2
(1) プロポーザル参加事業者	2
(2) 提案額の確認	2
(3) 機能要件の確認	2
(4) 総合点の算定による優先交渉事業者の選定	2
(5) 評価委員会による審査の流れ	2
3. 審査結果の概要（講評）	6
(1) 総評	6
(2) 選評	6
(3) 今後の事業実施に当たって	7

1. 事業者の募集と評価委員会の会議の経緯

(1) 業務概要

① 業務の目的

本市の現行の財務会計システムは導入より10年以上経過しており、この間システムの高度化、業務の多様性・複雑化、電子決裁・ペーパーレス化の推進など、システムを取り巻く環境が変化している。こういった変化に対応するため、新たな財務会計システムについて、プロポーザル方式を採用して、事業者からの企画や実施方法の提案を募集することとした。

② 契約期間

契約締結日から令和12年3月31日まで

(2) 募集のスケジュール

事業者の募集及び選定にあたってのスケジュールは、概ね次のとおりである。

年月日	項目
令和6年2月8日	公募開始、実施要領等の公表
令和6年2月20日	参加申込書、質問受付期限
令和6年2月29日	質疑回答
令和6年3月7日	提案書等受付期限
令和6年3月13日	プレゼンテーション・デモンストレーション審査の実施
令和6年3月28日	優先交渉事業者決定・公表

(3) 評価委員会の構成

事業者の選定にあたり川西市財務会計システム再構築に関するプロポーザル評価委員会設置要綱に基づき、評価委員会を設置した。

評価委員会の構成

役職	氏名	所属等
委員長	森下 宣輝	会計管理者
副委員長	本城 砂代	会計課長
委員	今岡 忠	企画財政部 財政課長
委員	曾我 昌弘	企画財政部 副部長
委員	熊井 洋平	総務部 職員課 担当課長

(4) 評価委員会の会議開催と経緯

開催日	内 容
令和6年3月13日	受託候補者選定会議（企画提案書についての意見交換及び採点、プレゼンテーション・デモンストレーションについての意見交換及び採点、受託候補者の選定）

2. 提案内容に関する審査

(1) プロポーザル参加事業者

参加申込書及び企画提案書の提出のあった事業者（以下、「参加事業者」という。）は、次の者であった。

事業者名
ジャパンシステム株式会社

(2) 提案額の確認

令和6年3月7日の見積書提出において、参加事業者の提案額が、提案上限額以下であることを確認した。

(3) 機能要件の確認

参加事業者から提出された機能要件回答書の採点結果が、マイナスでないことを確認した。

(4) 総合点の算定による優先交渉事業者の選定

評価委員会は、提案額が提案上限額以内であること。提案点及び実技点の評価点が6割以上であることを確認し、ジャパンシステム株式会社を受託候補者として選定した。

■総合評価一覧表

提案点		実技点		価格点	総合点 (1,000点)
企画提案書 評価 (150点)	機能要件 評価 (200点)	プレゼン 評価 (100点)	デモ評価 (150点)	提案価格評価 (400点)	
125	167	76	115	400	883

(5) 評価委員会による審査の流れ

評価委員会では、まず事業者から提出された企画提案書の記載内容について、会社概要、事業実施体制、システム概要などの項目ごとに書類審査し、評価を行った。

引き続き、参加事業者によるプレゼンテーション及びデモンストレーションを、令和6年3月13日に実施した。

プレゼンテーションでは、企画提案書による提案内容を補完する説明を受け、市が求める機能が満たせるかを含めて評価を行った。

デモンストレーションでは、画面構成や操作方法などについて操作性・視認性を確認した。質疑応答では、企画提案書、機能要件回答書を含めた提案について、上記の内容に加えて疑問点や本市の認識に齟齬がないか、詳細について確認を行った。

各委員は、「企画提案書」「機能要件回答書」「プレゼンテーション」「デモンストレーション」を総合的に評価し、本市が求める充実した機能が備わっているかを、慎重かつ厳正に審査した。

■ 価格点評価

参加事業者による提案価格（消費税及び地方消費税を含む）及び価格点は、次のとおりである。

提案額（税込）	価格点
¥95,473,840	400

提案上限額 101,875,840 円（消費税及び地方消費税を含む）

【価格計算式】

（全提案業者のうち最低見積額/見積価格） × 400 （＝価格点）

※提案額/提案上限額は、小数点以下は第1位を四捨五入とする。

■ 企画提案書評価結果一覧表

審査項目	審査内容	配点	評価委員 5名の 合計点
1. 提案ポイント			
①提案ポイント	市の求める提案内容に沿った提案内容か	10	35
2. 取組体制及び実績等			
①取組体制	開発体制が明確に示されており、開発担当者の経験が豊富である	10	35
②実績について	提案パッケージの本市と同規模以上の自治体での稼働実績 (10団体以上・・・A、5団体以上・・・B、2団体以上・・・C)	10	50
3. ソフトウェア			
①基本的事項	提案システムの特長が明快に示されている	5	21
	基本的な要件を理解した上での提案がなされている	10	45
	業務効率化が期待できる機能を備えているか	10	40
	他の業務システムと連携可能なシステムか	5	21
	他システム等とデータ連携を実現する為の具体的提案がされている	5	23
②将来性・拡張性	提案システムは、OS やブラウザ等の環境変化に対応できる柔軟性がある	5	21
	サブシステムの種類と他業務への拡張性がある	5	23
	クラウドコンピューティングでの提供が可能であり、且つ導入実績がある	5	19

③データ移行	移行するデータの範囲を理解し、移行の具体的提案がされている	5	25
④業務終了後のデータ抽出	EUC性に優れており、業務終了後のデータ抽出作業が可能か	5	23
4. ハードウェア			
①ハードウェア構成	システム運用に十分な構成となっているか	10	40
5. 開発及びスケジュール			
①スケジュール	開発スケジュールは、適切な工程で提案されている。各工程の役割が明確に示されている	5	21
②システム開発方針	開発についての具体的手法、作業手順、進捗管理が示されている	5	19
6. システム運用保守			
①システム運用保守	開発体制と一体型の運用体制か	5	23
	運用サポートの体制及び基本的な方針が明確に示されている	5	23
②職員操作研修	研修の実施方法、内容が具体的に示されている	5	17
③障害対策	障害を回避するための具体的な記述がある（冗長化など）	5	21
7. セキュリティ			
①情報保護対策	セキュリティ要件を満たす具体的な記述がある（マイナンバーの管理など）	5	21
	アクセスコントロールの方法が明確に示されている	5	23
8. その他			
①独自提案	独自の観点から有用な提案がある	10	40
合計			629
採点（5名の平均）			125

■プレゼンテーション・デモンストレーション評価結果一覧表

プレゼンテーション

項目	配点	評価委員 5名の 合計点
①自治体財務会計業務に精通した、専門性の高い業者か	20	70
②本調達を正確に理解した上で提案していたか、および市の方針に沿った内容か	20	80
③市の負担を最大限軽減できる提案内容か	20	70
④今後の行政経営への貢献など信頼できる業者か	20	60
⑤質疑回答を含め信頼できる業者か	20	100
合計		380
採点（5名の平均）	100	76

デモンストレーション

項目	配点	評価委員 の合計点
A. システム共通		
①全てのサブシステムが Web システムか	10	50
②業務選択（スタート）画面に使いやすさのための工夫が見られるか	5	19
③各システム間のデータ連携や受け渡しが可能か（歳入、人事給与等）	10	30
④職員側で行えるデータ抽出機能（CSV データ抽出）は十分なものか	10	40
⑤個人毎に、文字の大きさの変更や画面の色を設定できるなどのアクセシビリティに関する工夫があるか	5	21
⑥複数の画面を同時に開くことはできるか（「予算編成業務中に予算執行業務」「執行状況等のデータ抽出中に別の業務」など）	10	45
⑦システムを止めることなく、更新処理（バッチ処理のようなもの）が可能か	10	45
B. システム機能		
① 「予算編成」		
機能が充実していて、導入効果の高いシステムか	10	40
独自の有用な機能があったか	5	19
② 「予算執行」		
機能が充実していて、導入効果の高いシステムか	10	40
独自の有用な機能があったか	5	17
③ 「決算統計」		
機能が充実していて、導入効果の高いシステムか	10	40
独自の有用な機能があったか	5	17
④ 「起債管理」		
機能が充実していて、導入効果の高いシステムか	10	40
独自の有用な機能があったか	5	17
⑤ 「備品管理」		
機能が充実していて、導入効果の高いシステムか	10	35
独自の有用な機能があったか	5	19
⑥ 「電子決裁」		
機能が充実していて、導入効果の高いシステムか	10	30
独自の有用な機能があったか	5	13
合計		577
採点（5名の平均）	150	115

3. 審査結果の概要（講評）

(1) 総評

再構築の目的である、業務効率化、デジタル化を推進していくにあたり、業務効率化に資するものか、財務文書の電子決裁対応が可能なシステムか、また導入に際しては、円滑且つ支障なく適正に導入できるかという観点で審査を行った。

参加事業者の企画提案書の内容については、評価委員が意見交換を行い理解を深めた上で、プレゼンテーション・デモンストレーション時には質疑応答を行い、提案内容の詳細を確認した。

参加事業者から、独自のノウハウを十分に発揮した高水準で意欲的な提案がなされた。

(2) 選評

参加事業者の提案は、「川西市財務会計システム再構築業務基本仕様書」の事項を満たしており、その上で受託候補者として選定したジャパンシステム株式会社の評価は次のとおりである。

① 受託候補者に対する評価

円滑で職員負担を抑えたシステム導入、更なる業務効率化と今後のデジタル化支援、構築から運用保守まで一貫した実施体制、業務繁忙期のサポートによる職員負担軽減による安定した保守体制を評価した。

(機能要件回答書対応可否)

- ・機能要件回答書項目で対応不可なものには、「EUC 抽出機能により、それぞれの権限範囲内のデータ抽出が自由に出来ること。」「起債台帳は帳票の他、CSV 形式にて作成できること。」などがあつたが、汎用データ作成業務から情報出力が可能である代替案が示されており、当該機能の不足は十分補完できると判断した。

(本業務への理解)

- ・本市が課題として挙げた項目について、十分な説明がなされた。特に、財務会計システムにて必要な情報を入力後、更新を行うことで決裁ルートを意識せずにスムーズに決裁を進めることが可能な点、審査画面に、財務伝票にて入力した各項目が一覧表示され、項目ごとに添付ファイルと見比べながらチェックが可能な点などを高く評価した。

(システム要件)

- ・全システムを対象に予め必要なデータの出力項目を設定することで、必要なデータを容易に抽出可能な点を評価した。
- ・差引簿の CSV データ出力のレイアウトに摘要情報が追加されており、摘要情報のデータ出力と確認が可能な点を評価した。
- ・予算要求時に積算根拠等の電子文書が添付可能な点を評価した。
- ・予算要求内容に対する査定コメントを残す機能を評価した。
- ・支出命令書発行時に、連動する備品情報を仮登録出来る点を評価した。

(保守・運用)

- ・業務が滞ることなく安定稼働することが重要であるが、構築から運用保守まで一貫した実施体制、業務繁忙期のサポートによる職員負担軽減による安定した保守体制を確認した。

(追加提案)

- ・財務情報の分析・可視化ソリューション、電子決裁審査時の負担軽減機能を評価した。

(3) 今後の事業実施に当たって

選定したジャパンシステム株式会社においては、本市と綿密な調整を行い、提案内容を着実に実行されたい。

また、運用支援に際しても、システムの円滑な運用が行われるよう、柔軟に対応されることを期待する。